

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年11月13日 (2008.11.13)

【公表番号】特表2008-521543(P2008-521543A)
 【公表日】平成20年6月26日 (2008.6.26)
 【年通号数】公開・登録公報2008-025
 【出願番号】特願2007-544268(P2007-544268)
 【国際特許分類】

A 6 3 C 17/00 (2006.01)

B 6 0 B 33/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 C 17/00

B 6 0 B 33/00 5 0 2 C

B 6 0 B 33/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月14日 (2008.8.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ライダーに運動効果を提供するため、ライダーの両足を用いて方向変更可能な方式で推進されるキャストースケート装置であって、

その上に置かれる片足を支持するためのフロントボードと、

路面上で転動動作を行うための、センター軸に沿って前後位置に直列に整列されながら前記フロントボードの裏面に所定間隔をおいて装着される第 1 および第 2 ローラーと、

その上に置かれる他の片足を支持するために前記フロントボードの後側に配設されるリアボードと、

路面上で転動動作を行うための、センター軸に沿って前後位置に直列に整列されながら前記リアボードの裏面に所定間隔をおいて装着される第 3 および第 4 ローラーと、

所定の長さを有する可動性連結具であって、前記可動性連結具の一端が前記フロントボードの後端に連結されており、前記可動性連結具の他端が前記リアボードの前端に連結されており、したがって前記両フロントボードおよびリアボードが所定の範囲内で独立して動作可能であり、ここにおいて、第 1 および第 3 ローラーのそれぞれの回転中心が、所定間隔分だけ前記それぞれのボードの裏面に対して所定傾斜角度を有する軸から間隔をおいて位置することを特徴とする可動性連結具

を具備するキャストースケート装置。

【請求項 2】

ライダーに運動効果を提供するため、ライダーの両足を用いて方向変更可能な方式で推進されるキャストースケート装置であって、

その上に置かれる片足を支持するためのフロントボードと、

路面上で転動動作を行うための、センター軸に沿って前後位置に直列に整列されながら前記フロントボードの裏面に所定間隔をおいて装着される第 1 および第 2 ローラーと、

その上に置かれる他の片足を支持するために前記フロントボードの後側に配設されるリアボードと、

路面上で転動動作を行うための、センター軸に沿って前後位置に直列に整列されながら

前記リアボードの裏面に所定間隔をおいて装着される第 3 および第 4 ロールーと、所定の長さを有する可動性連結具であって、

前記可動性連結具の一端が前記フロントボードの後端に連結されており、前記可動性連結具の他端が前記リアボードの前端に連結されており、したがって前記両フロントボードおよびリアボードが所定の範囲内で独立して動作可能であり、

ここにおいて、第 1 および第 3 ロールーのそれぞれの回転中心が、所定半径分だけ前記それぞれのボードの裏面に対して所定傾斜角度を有する軸から間隔をおいて位置することを特徴とし、さらには、前記第 2 および第 4 ロールーのそれぞれの回転中心が、所定間隔分だけ前記それぞれのボードの裏面に対して垂直な後回転軸から間隔をおいて位置することも特徴とする可動性連結具

を具備するキャストスケート装置。

【請求項 3】

ライダーに運動効果を提供するため、ライダーの両足を用いて方向変更可能な方式で推進されるキャストスケート装置であって、

その上に置かれる片足を支持するためのフロントボードと、

路面上で転動動作を行うための、センター軸に沿って前後位置に直列に整列されながら前記フロントボードの裏面に所定間隔をおいて装着される第 1 および第 2 ロールーと、

その上に置かれる他の片足を支持するために前記フロントボードの後側に配設されるリアボードと、

路面上で転動動作を行うための、センター軸に沿って前後位置に直列に整列されながら前記リアボードの裏面に所定間隔をおいて装着される第 3 および第 4 ロールーと、

所定の長さを有する可動性連結具であって、

前記可動性連結具の一端が前記フロントボードの後端に連結されており、前記可動性連結具の他端が前記リアボードの前端に連結されており、したがって前記両フロントボードおよびリアボードが所定の範囲内で独立して動作可能であり、

ここにおいて、第 1 ~ 第 4 ロールーのそれぞれの回転中心が、所定間隔分だけ前記それぞれのボードの裏面に対して所定傾斜角度を有する軸から間隔をおいて位置することを特徴とする可動性連結具

を具備するキャストスケート装置。

【請求項 4】

ライダーの両足を用いて路面上で走行と方向変更をしながら運動することができるようにした運動器具であって、

前記ライダーの両足がそれぞれ置かれる一対のボード (2 0)、(3 0) と、

前記一対のボード (2 0)、(3 0) のそれぞれの底面に所定の間隔をおいて一軸に直列に配置され、路面上で転動動作を行う少なくとも 2 つ以上のロールーと、を備え、

前記ロールーのうち少なくともいずれか 1 つは、前記それぞれのボード面に対する垂直軸方向から所定の傾斜角度 を形成する傾斜軸 C を中心として回転可能に設置されたことを特徴とするキャストスケート。

【請求項 5】

前記一対のボードは、少なくとも所定の範囲内で独立して動作可能であることを特徴とする請求項 4 に記載のキャストスケート。

【請求項 6】

前記傾斜角度 は、25 度以上、45 度以下であることを特徴とする請求項 4 に記載のキャストスケート。

【請求項 7】

前記ロールーは、傾斜軸 C から所定の回転半径 r をもって設置されたことを特徴とする請求項 4 に記載のキャストスケート。

【請求項 8】

前記それぞれのボードの底面から導き出され、前記ボードの上面に対して傾斜面を含むブラケットを更に備えることを特徴とする請求項 4 に記載のキャストスケート。

【請求項 9】

前記ローラーは、前記ブラケットの傾斜面に回転可能に結合されることを特徴とする請求項 8 に記載のキャスタースケート。

【請求項 10】

ライダーの両足を用いて路面上で走行と方向変更をしながら運動することができるようにした運動器具であって、

いずれか片足が置かれる前方ボード (20) と、

前記前方ボード (20) の底面に所定の間隔をおいて前後方の一軸に直列に配置され、路面上で転動動作を行なう第 1 ローラー (22) 及び第 2 ローラー (23) と、

前記前方ボード (20) の後方に配置され、他の片足が置かれる後方ボード (30) と

、前記後方ボード (30) の底面に所定の間隔をおいて前後方の一軸に直列に配置され、路面上で転動動作を行う第 3 ローラー (32) 及び第 4 ローラー (33) と、を備え、

前記第 1 ローラー (22)、第 3 ローラー (32) は、前方ボード (20)、後方ボード (30) の上面に対して所定の傾斜角度を形成する傾斜軸 C から所定の回転半径 r をもって設置されたことを特徴とするキャスタースケート。

【請求項 11】

前記前方ボード (20) 及び後方ボード (30) は、少なくとも所定の範囲内で独立して動作可能であることを特徴とする請求項 10 に記載のキャスタースケート。

【請求項 12】

前記第 2 ローラー (23)、第 4 ローラー (33) は、前方ボード (20)、後方ボード (30) の底面回転軸 C1 から所定の半径 $r1$ をもって設置されたことを特徴とする請求項 10 に記載のキャスタースケート。

【請求項 13】

前記第 1 ローラー (22)、第 2 ローラー (23)、第 3 ローラー (32)、第 4 ローラー (33) は、前方ボード (20)、後方ボード (30) の上面に対して所定の傾斜角度を形成する傾斜軸 C から所定の回転半径 r をもって設置されたことを特徴とする請求項 10 に記載のキャスタースケート。

【請求項 14】

前記傾斜角度は、25 度以上、45 度以下であることを特徴とする請求項 10 に記載のキャスタースケート。

【請求項 15】

前記前方ボード及び後方ボードの底面からそれぞれ導き出され、前記前方ボード及び後方ボードの上面に対して傾斜面を含むブラケット (25)、(35) を更に備えることを特徴とする請求項 10 に記載のキャスタースケート。

【請求項 16】

前記第 1 ローラー (22)、第 3 ローラー (32) は、前記ブラケット (25)、(35) の傾斜面に回転可能に結合されることを特徴とする請求項 15 に記載のキャスタースケート。